

発行責任者 北村崇誠

編集者 北井悟司

連合奈良南和地域協議会 〒634-0061 橿原市大久保町 457-1 大松ビル 504 TEL0744-47-3905 FAX0744-47-2305

3月『連合奈良の日』街宣行動

『サブロクの日』と『ロシアの軍事侵攻反対』桜井駅で訴える

3月7日に近鉄桜井駅前で、連合奈良の日街宣行動を行いました。前日の3月6日を連合は『サブロクの日』として日本記念日協会に登録しています。



長時間労働で、苦しんでいる人は多くいます。働き過ぎを防ぐ仕組みとして

『36協定』があり、長時間労働や不払い残業撲滅にむけ、『サブロクの日』を自分たちの働き方を見直し、安心して働き暮らしていける社会にしていくことを訴えました。

また、2月24日にロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始し、現在も続いています。ウクライナでは、子どもを含め一般市民が犠牲になっていると報道しています。国際法では、領土問題については、

武力を行使するのではなく、平和的に解決



を義務付けており、ロシアの侵攻は国際法に違反した行為で許されません。更にプーチン大統領は核兵器使用を背景に圧力をかけています。

非人道的兵器の核兵器の使用は断じて阻止しなければなりません。一刻も早く戦争を終結させるため、経済制裁と並行して、『戦争反対』の世論を高揚させることが必要です。

他方、国内では、この機に乗じて、『憲法9条の見直し』や『非核三原則緩和』などの「火事場泥棒」的な主張が、自民党や日本維新の会から出ています。領土・領空問題は、戦争になる大きな要因ですあり、武力行使で解決するのではなく、双方の外交努力により平和的に解決がされなければなりません。日本は、韓国とも北朝鮮とも中国ともロシアとも関係悪化は戦後最悪の状況になっており、東アジアで「孤立」した状況にあります。このことの原因は外交の失敗に他なりません。今こそ平和外交を進めることが求められます。

参加者：地協役員等 10人

連合奈良推薦議員：工藤桜井市議

ロシアのウクライナ侵攻に 反対する街宣行動

日時：3月30日（水）

18：00～19：30

場所：近鉄大和八木駅前



ウクライナでは、子どもをはじめ、多くの市民が犠牲になっています。ロシアの軍事侵攻を一刻も早く終わらせるため、『戦争反対』の声を上げて行きましょう。

ひとりでも多くの皆さんの参加をお願いします。